

## 教育学研究科 総合教育科学専攻 修士課程 学位論文評価基準

(学位論文が満たすべき基準)

1. 教育諸領域における高度の専門的知識と探究能力を有し、高い倫理意識と社会的責任感と指導的人材となる自覚をもって、自ら発見した研究課題の研究を計画、遂行、報告していると判断されること。

(審査委員体制)

2. コースに所属する教員全員で審査する。

(審査方法)

3. 論文の内容および口述試験の評価に基づいて審査する。

(審査項目)

4. 研究テーマと主張の明確さと独創性、論文の構成、文章表現、先行文献・研究の引用の妥当性、研究方法や分析方法（実験、調査、解析、統計）の適切さ、論証の妥当性、各教育研究分野への貢献度などの観点から審査を行う。

(その他)

5. 論文提出者より提出される「宣誓書」により、データの捏造、改ざんや盗用等の不正行為を行っていないことを確認する。

## 教育学研究科 総合教育科学専攻 博士後期課程 学位論文評価基準

(学位論文が満たすべき基準)

1. 教育諸領域における卓越した専門的知識を有し、高い倫理意識と社会的責任感と専門領域をリードする指導的人材となる自覚をもって、自立して独創的な研究を計画、遂行、報告していると判断されること。

(審査委員体制)

2. 原則として5名の委員で学位審査委員会を構成する。特定の領域・分野の教員のみで審査が行われることで公平・公正さが失われることのないよう、審査委員のうち専門領域・分野のコースの教員は3名以内とする。それ以外の審査委員には、隣接領域・分野のコースの教員、もしくは教育学研究科以外の学内の教員または学外の大学院、研究所等の教員等（ただし、審査に必要と認められた場合、2名まで）が加わる。

(審査方法)

3. 審査にあたっては、審査委員による論文の審査の他、公開発表会及び口述試験を実施して学力を確認し、審査委員より提出された審査報告書に基づき、本研究科教育会議において論文内容及び審査結果を確認、審議する。

(審査項目)

4. 研究テーマと主張の明確さと独創性、論文の構成、文章表現、先行文献・研究の引用の妥当性、研究方法や分析方法（実験、調査、解析、統計）の適切さ、論証の妥当性、各教育研究分野への貢献度などの観点から審査を行う。

(その他)

5. 論文提出者より提出される「宣誓書」および指導教員による剽窃防止のためのソフトウェア使用により、データの捏造、改ざんや盗用等の不正行為を行っていないことを確認する。

## 教育学研究科 学校教育高度化専攻 修士課程 学位論文評価基準

(学位論文が満たすべき基準)

1. 教育実践及び教育行政における高度の専門的知識と探究能力を有し、高い倫理意識と社会的責任感と学校教育にかかわる指導的人材となる自覚をもって、自ら発見した研究課題の研究を計画、遂行、報告していると判断されること。

(審査委員体制)

2. コースに所属する教員全員で審査する。

(審査方法)

3. 論文の内容および口述試験の評価に基づいて審査する。

(審査項目)

4. 研究テーマと主張の明確さと独創性、論文の構成、文章表現、先行文献・研究の引用の妥当性、研究方法や分析方法（実験、調査、解析、統計）の適切さ、論証の妥当性、各教育研究分野への貢献度などの観点から審査を行う。

(その他)

5. 論文提出者より提出される「宣誓書」により、データの捏造、改ざんや盗用等の不正行為を行っていないことを確認する。

## 教育学研究科 学校教育高度化専攻 博士後期課程 学位論文評価基準

(学位論文が満たすべき基準)

1. 教育実践及び教育行政における卓越した専門的知識を有し、高い倫理意識と社会的責任感と学校教育にかかわる専門領域をリードする指導的人材となる自覚をもって、自立して独創的な研究を計画、遂行、報告していると判断されること。
2. 原則として5名の委員で学位審査委員会を構成する。特定の領域・分野の教員のみで審査が行われることで公平・公正さが失われることのないよう、審査委員のうち専門領域・分野のコースの教員は3名以内とする。それ以外の審査委員には、隣接領域・分野のコースの教員、もしくは教育学研究科以外の学内の教員または学外の大学院、研究所等の教員等（ただし、審査に必要と認められた場合、2名まで）が加わる。

(審査方法)

3. 審査にあたっては、審査委員による論文の審査の他、公開発表会及び口述試験を実施して学力を確認し、審査委員より提出された審査報告書に基づき、本研究科教育会議において論文内容及び審査結果を確認、審議する。

(審査項目)

4. 研究テーマと主張の明確さと独創性、論文の構成、文章表現、先行文献・研究の引用の妥当性、研究方法や分析方法（実験、調査、解析、統計）の適切さ、論証の妥当性、各教育研究分野への貢献度などの観点から審査を行う。

(その他)

5. 論文提出者より提出される「宣誓書」および指導教員による剽窃防止のためのソフトウェア使用により、データの捏造、改ざんや盗用等の不正行為を行っていないことを確認する。